

# 平成22年度 市政世論調査結果報告書

## 概要版

### はじめに

本市の市政世論調査は昭和45年に実施して以来、今回で41回目を迎えます。

市政世論調査は市民各層の行政ニーズを的確にとらえ、行政施策に反映させていくために継続して実施しているものです。

今回は「暮らしや居留意向について」「市内の路線バスについて」「越谷市の環境について」「ごみの分別について」「男女共同参画について」「成年後見制度について」「各種がん検診の受診状況について」「スポーツ・レクリエーションの実施状況について」「生涯学習について」「住宅用火災警報器の設置について」「市職員の対応について」「越谷市の施策について」の各テーマにおいて、市民意識の把握に努めました。

今回の調査で、すべてのニーズや問題点が解明されたわけではありませんが、調査の結果を今後の市政運営の参考資料として活用しながら、市民の皆様の期待に応えられるまちづくりや、行政サービスを推進してまいりたいと考えております。

ご多忙にもかかわらず、市政世論調査にご協力をいただきました市民の皆様にご心より御礼申し上げます。

平成22年12月

越谷市長 **高橋 努**

### 調査の概要

- ◆調査地域 越谷市内全域
- ◆調査対象 市内在住の20歳以上の男女
- ◆対象者数 5,000人
- ◆抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆調査方法 郵送法(郵送配布・郵送回収)
- ◆調査期間 平成22年6月24日～平成22年7月9日
- ◆回収結果 回収票数 2,555 (51.10%)  
有効票数 2,547 (50.94%)
- ◆本調査報告書(概要版)の見方について
  - 調査結果の比率は、その回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
  - 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
  - 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いることもある。
  - 比較可能なものについては、過去(H18以降)の調査結果も併せて掲載している。



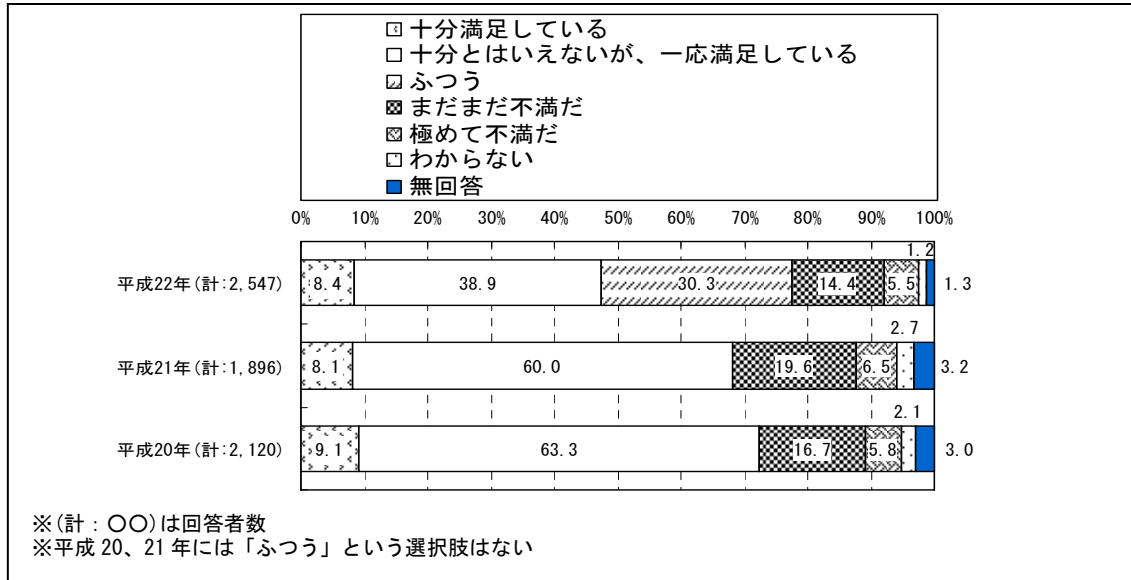
## ◇暮らしや居住意向について◇

### ●現在の暮らし向き

「十分とはいえないが、一応満足している」が多い

現在の暮らし向きについて、「十分とはいえないが、一応満足している」(38.9%)が最も多く約4割を占め、次いで「ふつう」(30.3%)が多くなっています。なお、「十分満足している」は、平成20年9.1%、平成21年8.1%、今回調査では8.4%となっています。

問8. あなたは現在の暮らし向きについて、どのように思っていますか。

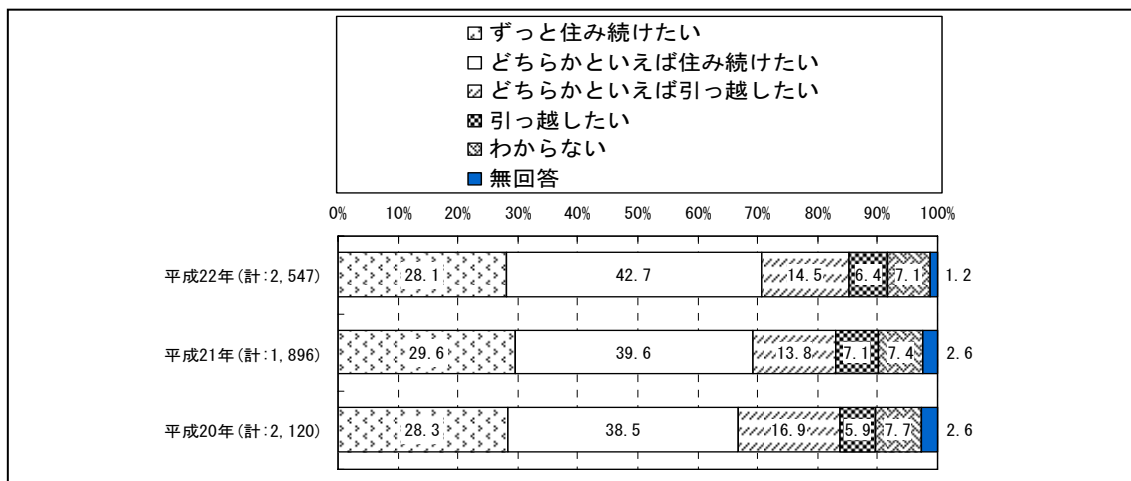


### ●今後の居住意向

「どちらかといえば住み続けたい」が多い

今後の居住意向については、「どちらかといえば住み続けたい」(42.7%)が最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」(28.1%)が続いています。住み続けたい人(「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計)の割合は、平成20年66.8%、平成21年69.2%、今回調査では70.8%となっています。

問9. あなたは今後も、現在のところに住み続けたいと思いますか。



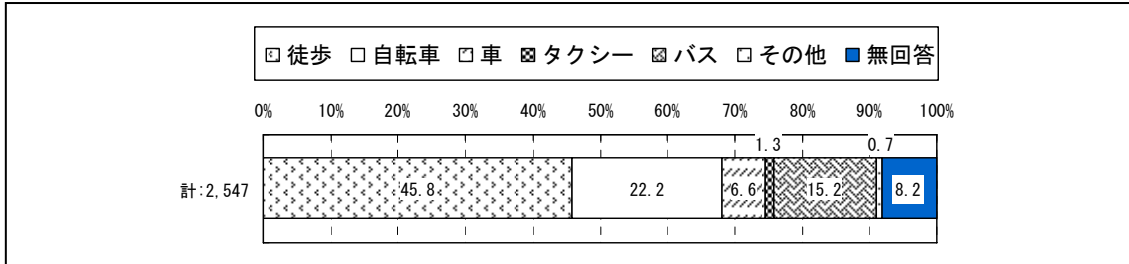
## ◇市内の路線バスについて◇

### ●主な交通手段

「徒歩」が多い

自宅から最寄り駅までの主な交通手段については、「徒歩」(45.8%)が4割台半ばを占めて最も多くなっており、次いで「自転車」(22.2%)、「バス」(15.2%)と続いています。

問 10. 自宅から最寄り駅までの主な交通手段はどれですか。

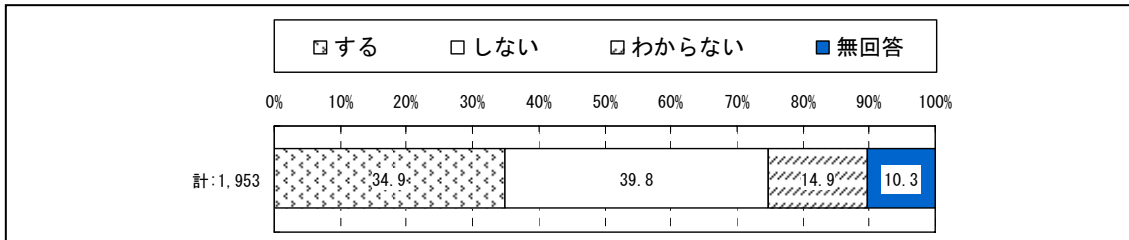


### ●新たな路線バスの利用意向

利用しない人が多い

新たな路線バスの利用意向については、「しない」(39.8%)が最も多く、次いで「する」が 34.9% でした。

問 10-1. 問 10 でバス以外と答えた方に伺います。新たに路線バスが自宅付近を運行した際は、利用しますか。

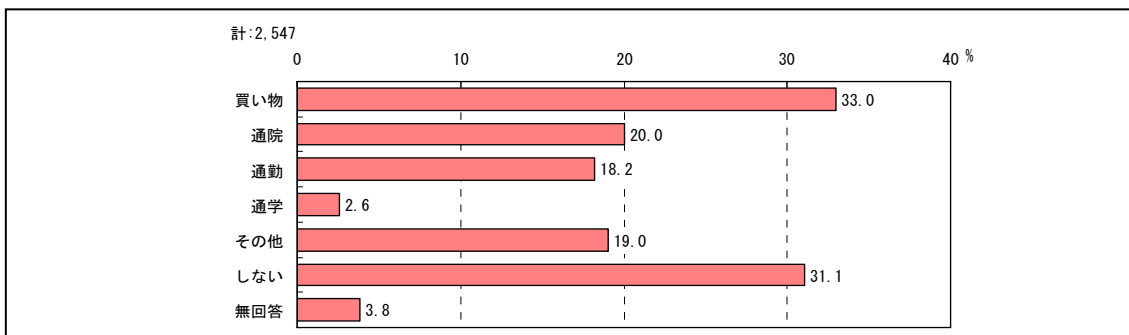


### ●バスの利用目的

「買い物」が多い

バスの利用目的については、「買い物」(33.0%)が3割を超えて最も多く、次いで「通院」(20.0%)、「通勤」(18.2%)などと続いています。一方、「しない」(31.1%)も3割を超えています。

問 11. 皆さんにお伺いします。どのような目的でバスを利用しますか。



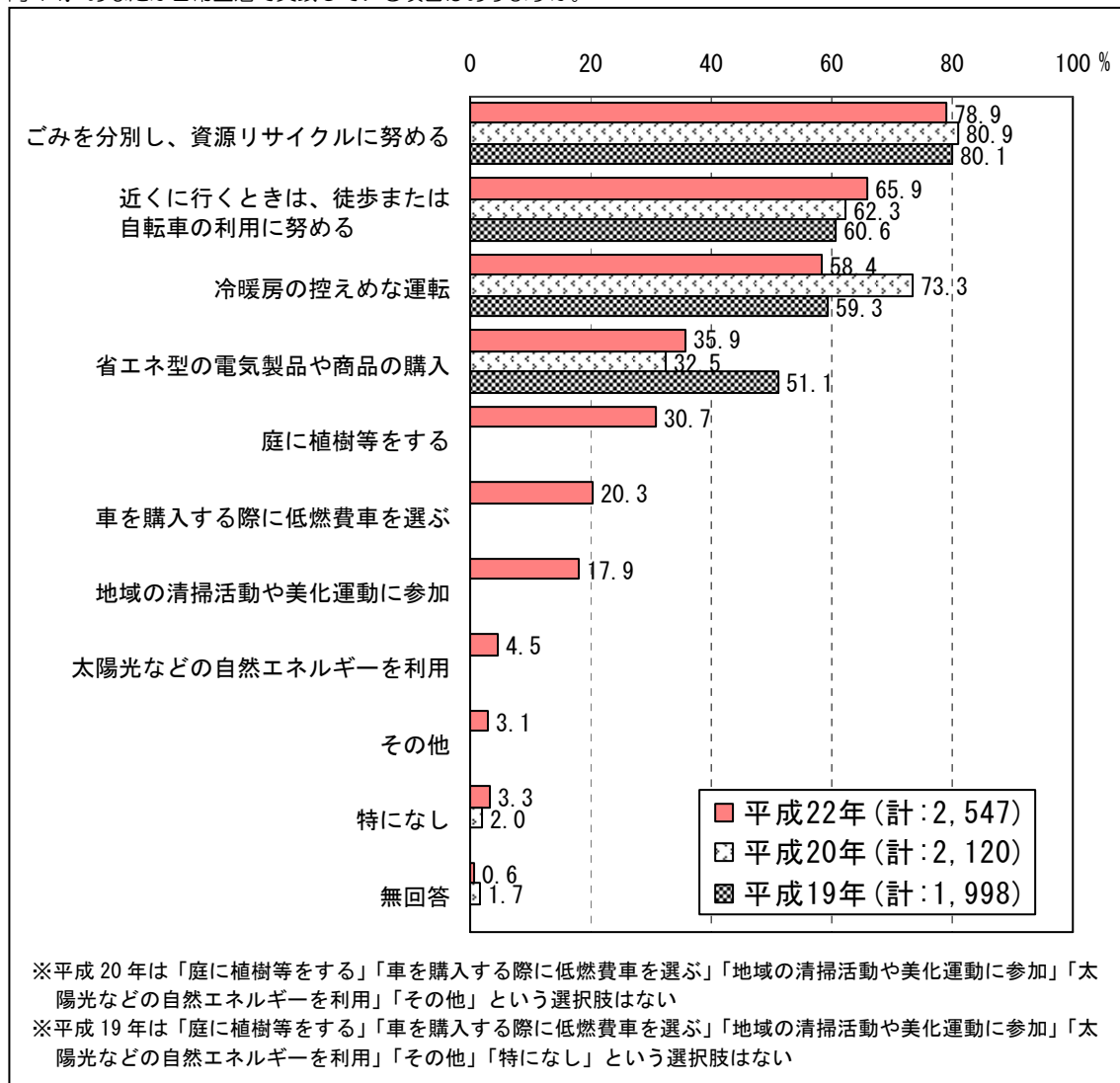
## ◇越谷市の環境について◇

### ●日常生活での実践項目

「ごみを分別し、資源リサイクルに努める」が多い

日常実践している項目については、「ごみを分別し、資源リサイクルに努める」が約8割で最も多く、以下、「近くに行くときは、徒歩または自転車の利用に努める」(65.9%)、「冷暖房の控えめな運転」(58.4%)などが続いています。「冷暖房の控えめな運転」は平成20年に7割を超えて高くなっていましたが、今回調査では再び6割弱に減っています。

問 14. あなたが日常生活で実践している項目はありますか。



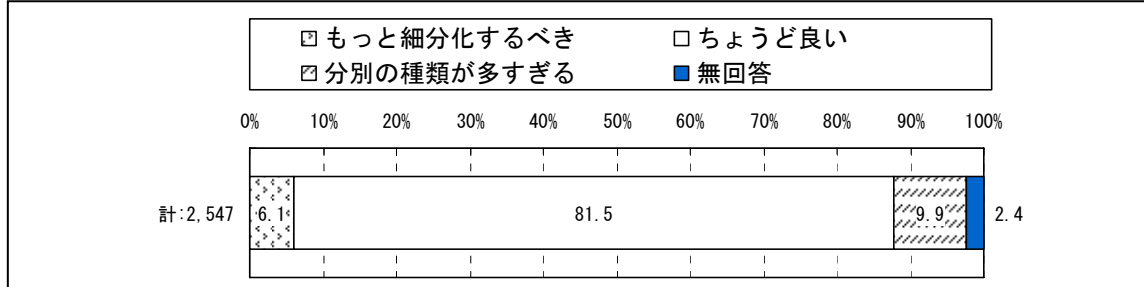
## ◇ごみの分別について◇

### ●ごみの分別区分

「ちょうど良い」が多い

ごみの分別区分については、「ちょうど良い」が8割を超えて圧倒的に多くなっています。

問 17. 市が収集するごみの分別区分について、どのように思いますか。



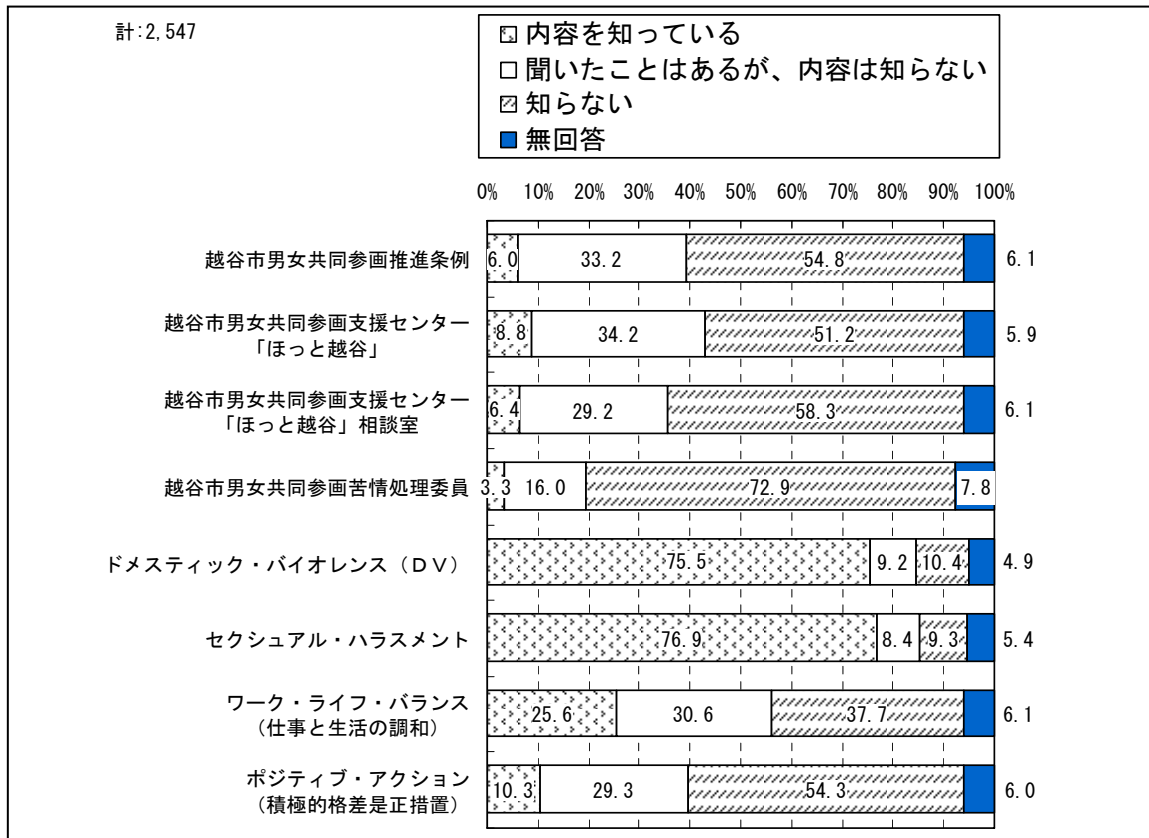
## ◇男女共同参画について◇

### ●ことばやことからの周知度

周知度が高いのは「セクシュアル・ハラスメント」

「内容を知っている」ことばやことからは、「セクシュアル・ハラスメント」(76.9%)、「ドメスティック・バイオレンス(DV)」(75.5%)が7割を超えています。次いで多い「ワーク・ライフ・バランス」は3割を切っています。一方、「知らない」が最も多かったのは「越谷市男女共同参画苦情処理委員」(72.9%)でした。

問 21. 次に掲げる「ことば」や「ことから」を知っていますか。各項目について、1から3の中から選んでください。

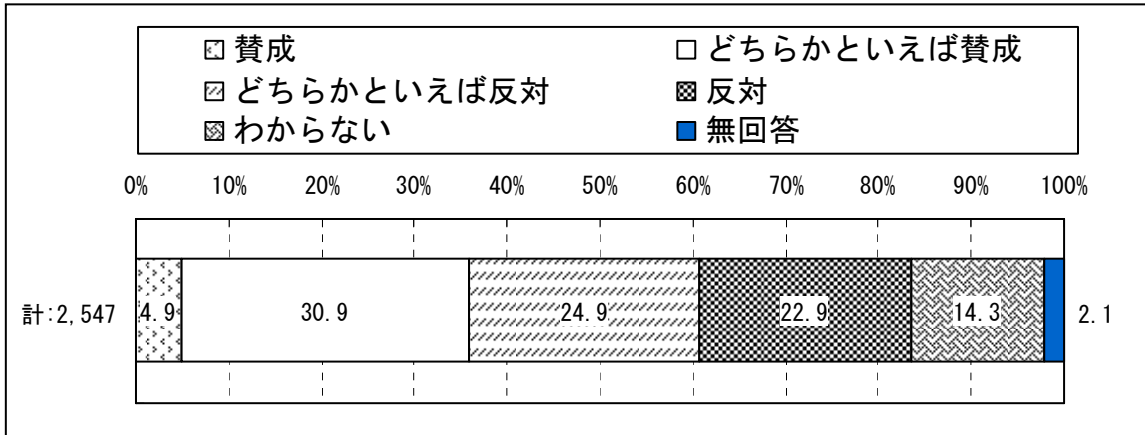


●「男は仕事、女は家庭」という考え方

「どちらかといえば賛成」が多い

「男は仕事、女は家庭」という考え方については、「どちらかといえば賛成」が3割を超えて最も多いものの、「賛成」(4.9%)を含めた賛成意見(35.8%)より、反対意見(「どちらかといえば反対」と「反対」の合計)の方が47.8%で多くなっています。

問 22. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

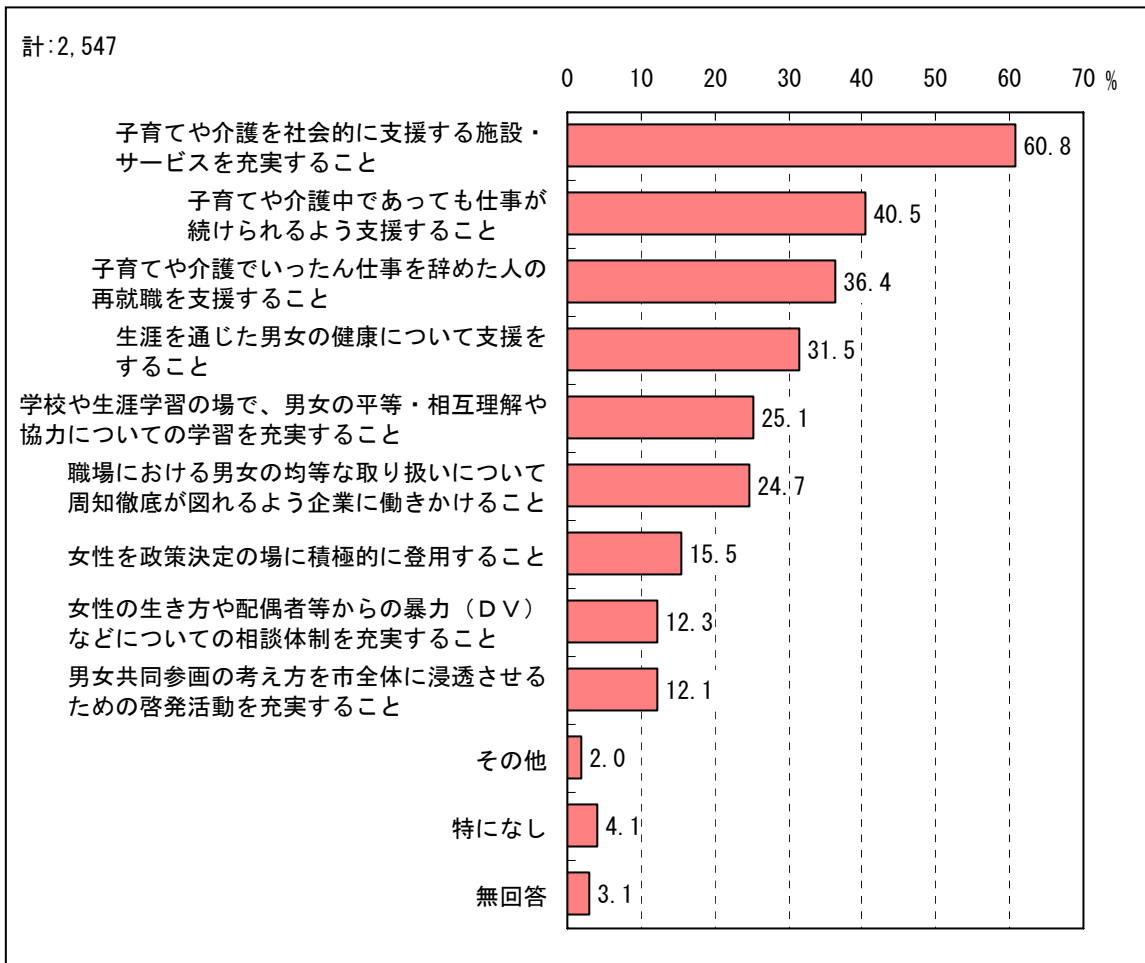


●男女共同参画社会を推進するために力を入れるべきこと

「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスを充実すること」が多い

男女共同参画社会を推進していくために力を入れるべきことについては、「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスを充実すること」が6割を超えて最も多く、次いで「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援すること」(40.5%)、「子育てや介護でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援すること」(36.4%)、「生涯を通じた男女の健康について支援をすること」(31.5%)と続いています。

問 23. 男女共同参画社会を推進していくために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。





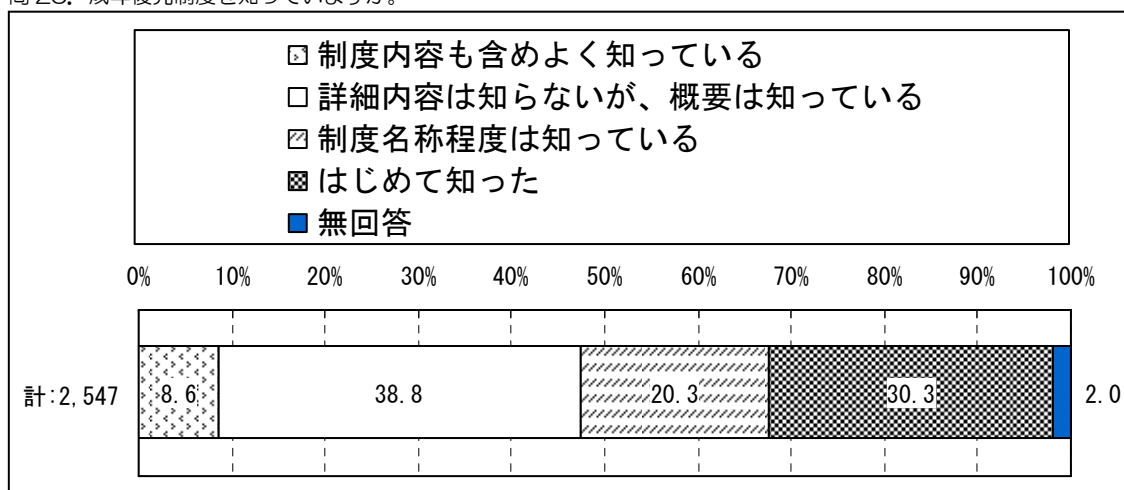
## ◇成年後見制度について◇

### ●成年後見制度の周知度

成年後見制度は「知っている」が7割

成年後見制度の周知度については、「詳細内容は知らないが、概要は知っている」(38.8%)が最も多く、次いで「はじめて知った」(30.3%)が多くなっています。

問 25. 成年後見制度を知っていますか。

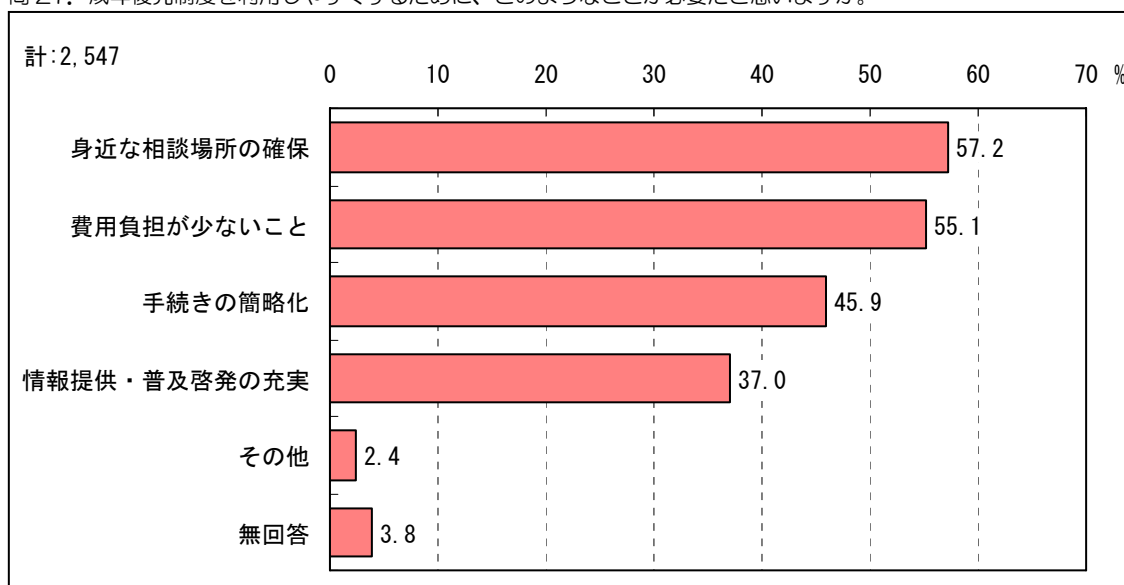


### ●成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと

「身近な相談場所の確保」が多い

成年後見制度を利用しやすくするために必要なことについては、「身近な相談場所の確保」(57.2%)が最も多く、次いで「費用負担が少ないこと」(55.1%)、「手続きの簡略化」(45.9%)と続いています。

問 27. 成年後見制度を利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。



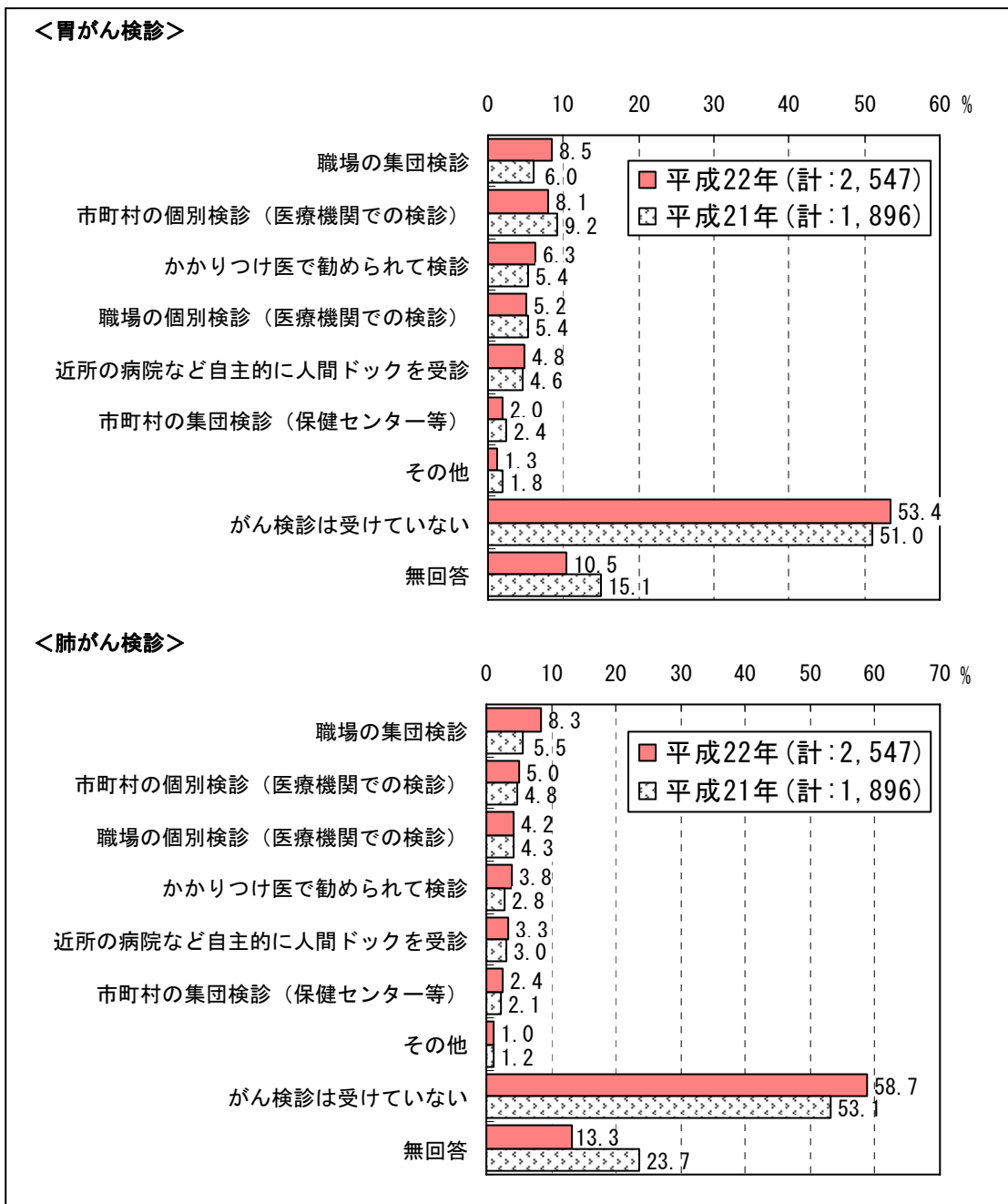
## ◇各種がん検診の受診状況について◇

### ●過去3年間のがん検診の受診状況

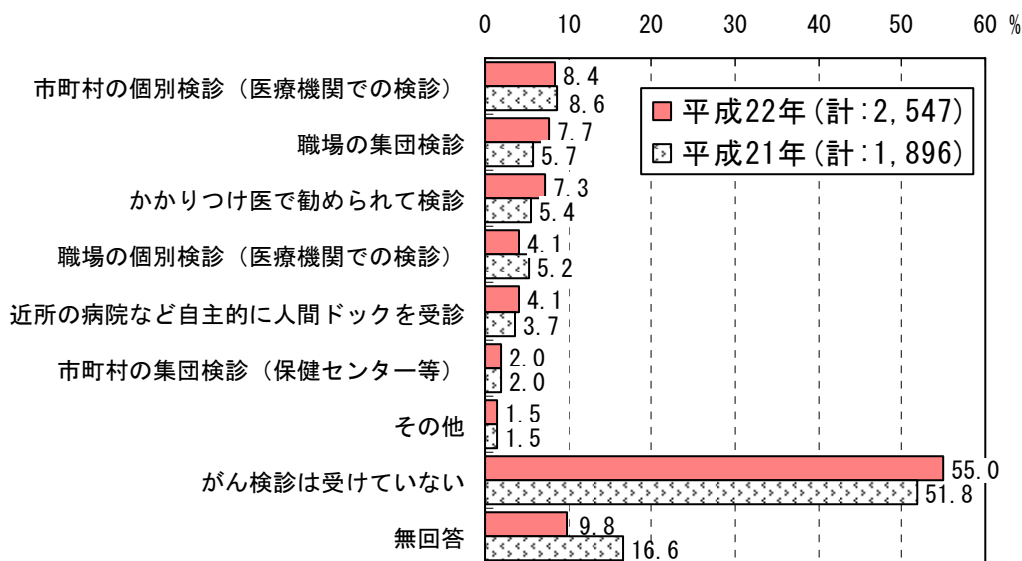
いずれのがん検診も「がん検診は受けていない」が半数近くに達している

直近のがん検診の受診状況については、いずれの検診についても「がん検診は受けていない」とする回答が半数近くを占めています。受診している人の受診先としては、「胃がん検診」と「肺がん検診」を除く各検診で「市町村の個別検診（医療機関での検診）」と回答する人が多く、特に「子宮がん検診」で12.4%に達しています。なお、「がん検診は受けていない」はすべての検診において平成21年より高くなっています。

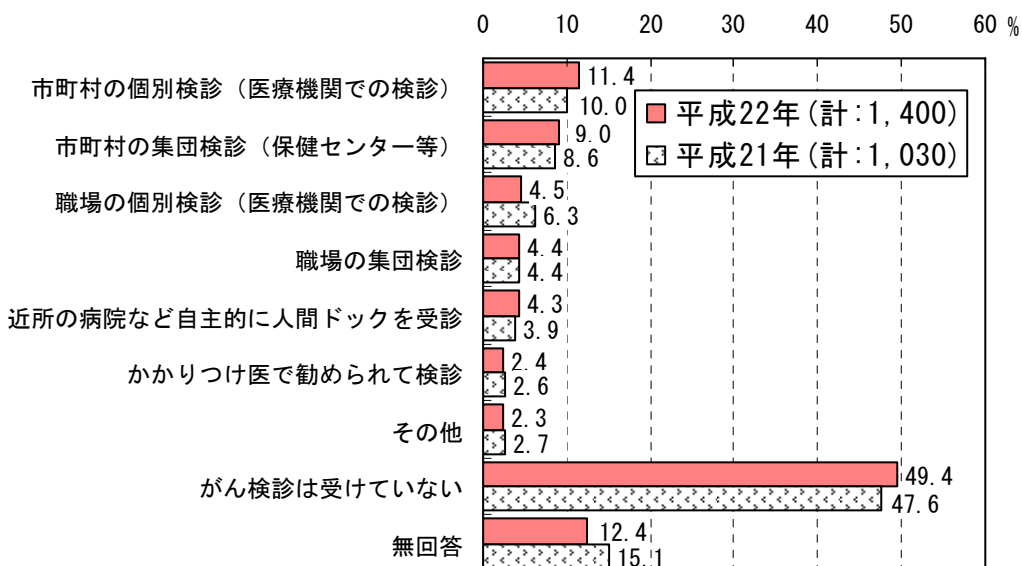
問28. あなたは、過去3年間にどこでがん検診を受けましたか。



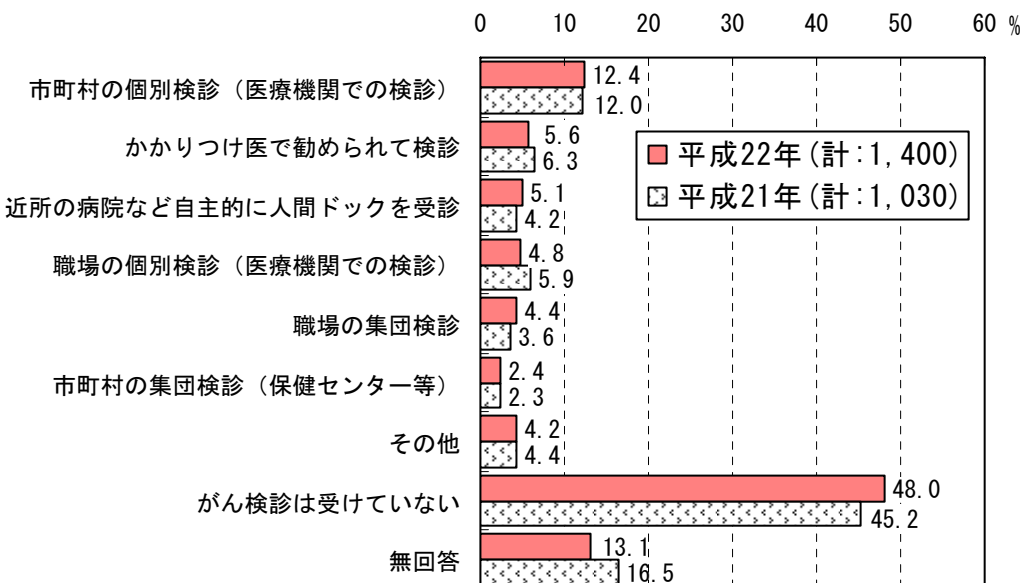
<大腸がん検診>



<乳がん検診>



<子宮がん検診>



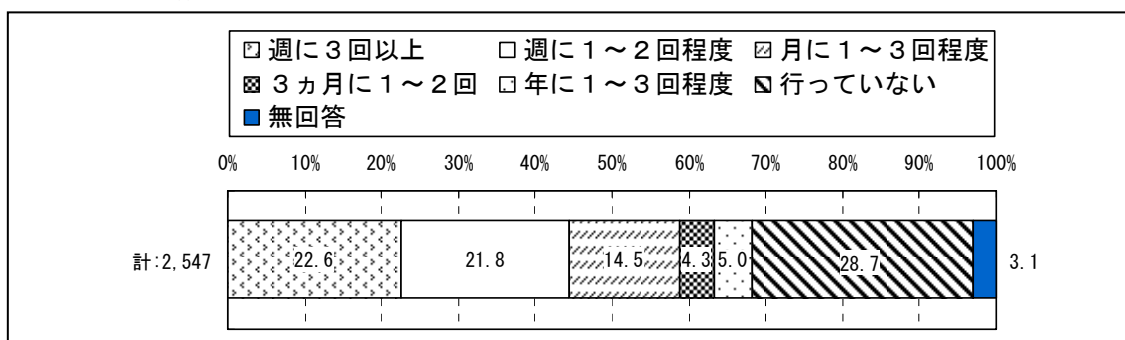
## ◇スポーツ・レクリエーションの実施状況について◇

### ●スポーツ・レクリエーション活動頻度

「行っていない」が多い

スポーツ・レクリエーション活動の頻度については、「行っていない」(28.7%)が3割近くで最も多くなっています。一方、行っている場合の頻度としては「週に3回以上」(22.6%)が最も多くなっています。

問 29. この1年間でどのくらいスポーツ・レクリエーション活動を行いましたか(1回30分程度のウォーキング・徒歩や軽い体操も含みます)。

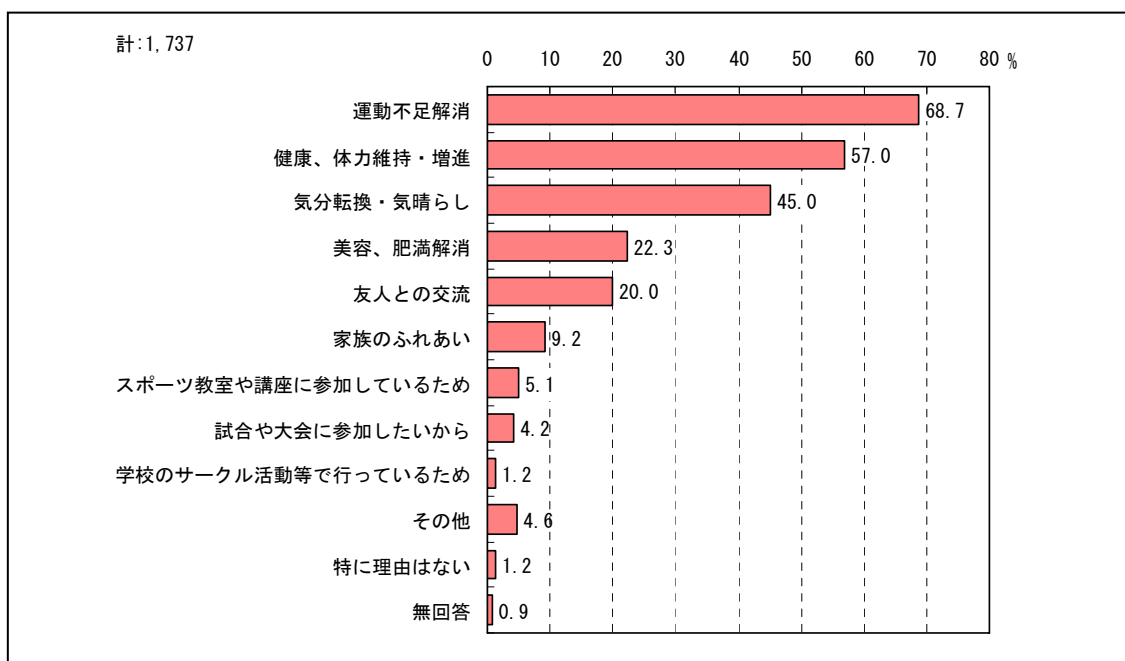


### ●スポーツ・レクリエーション活動を行った理由

「運動不足解消」が多い

スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由については、「運動不足解消」が約7割で最も多くなっています。次いで「健康、体力維持・増進」(57.0%)、「気分転換・気晴らし」(45.0%)などと続いています。

問 29-1. 問 29 でスポーツ・レクリエーション活動を行っている方と答えた方に伺います。あなたがスポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。



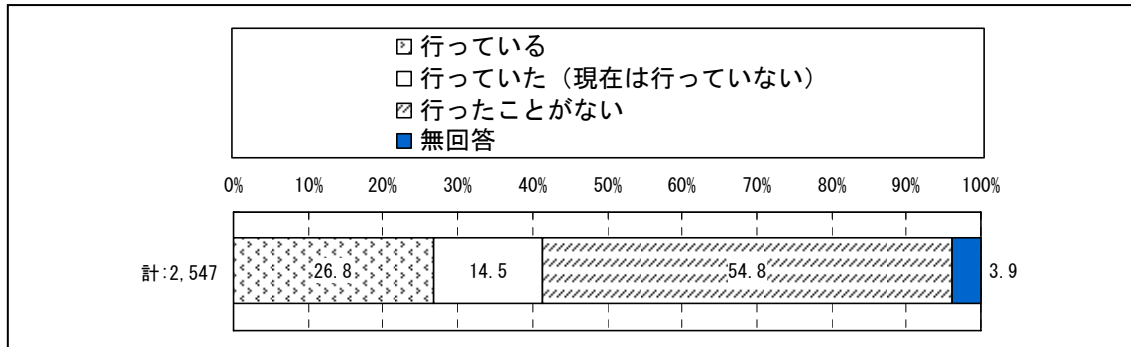
## ◇生涯学習について◇

### ●生涯学習の活動状況

「行ったことがない」が多い

生涯学習活動については、「行ったことがない」(54.8%)が過半数を占めて最も多く、「行っている」は 26.8%となっています。

問 31. 生涯学習活動を行っていますか。

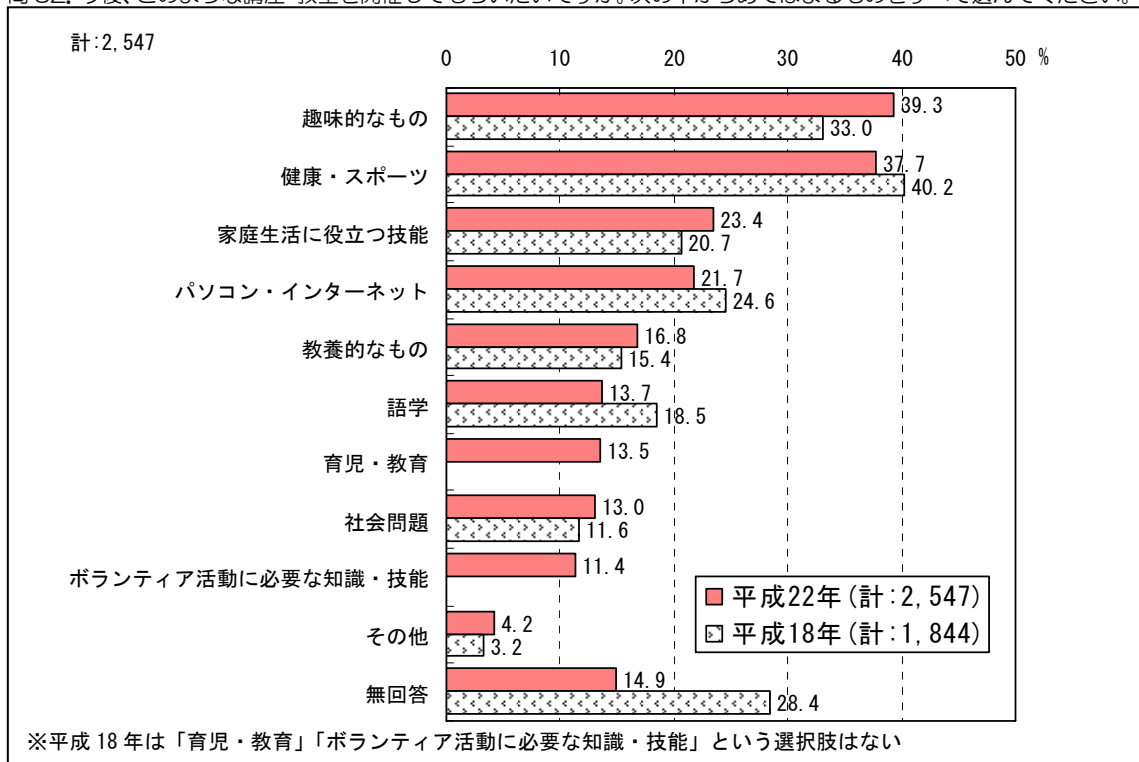


### ●今後開催してもらいたい講座・教室

「趣味的なもの」が多い

今後開催してもらいたい講座・教室については、「趣味的なもの」(39.3%)が最も多く、次いで「健康・スポーツ」(37.7%)、「家庭生活に役立つ技能」(23.4%)、「パソコン・インターネット」(21.7%)となっています。なお、上位2つは平成 18 年の順位と入れ替わっています。

問 32. 今後、どのような講座・教室を開催してもらいたいですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



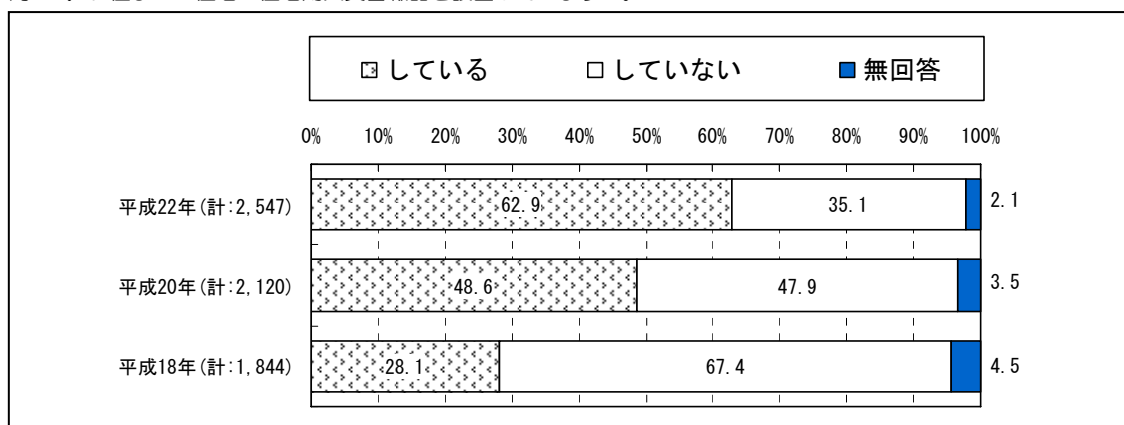
## ◇住宅用火災警報器の設置について◇

### ●住宅用火災警報器の設置状況

設置している人が多い

住宅用火災警報器の設置については、平成18年では「している」が3割を切っていましたが、平成20年では約半数、今回調査では6割を超え、設置割合は増えています。

問33. お住まいの住宅に住宅用火災警報器を設置していますか。



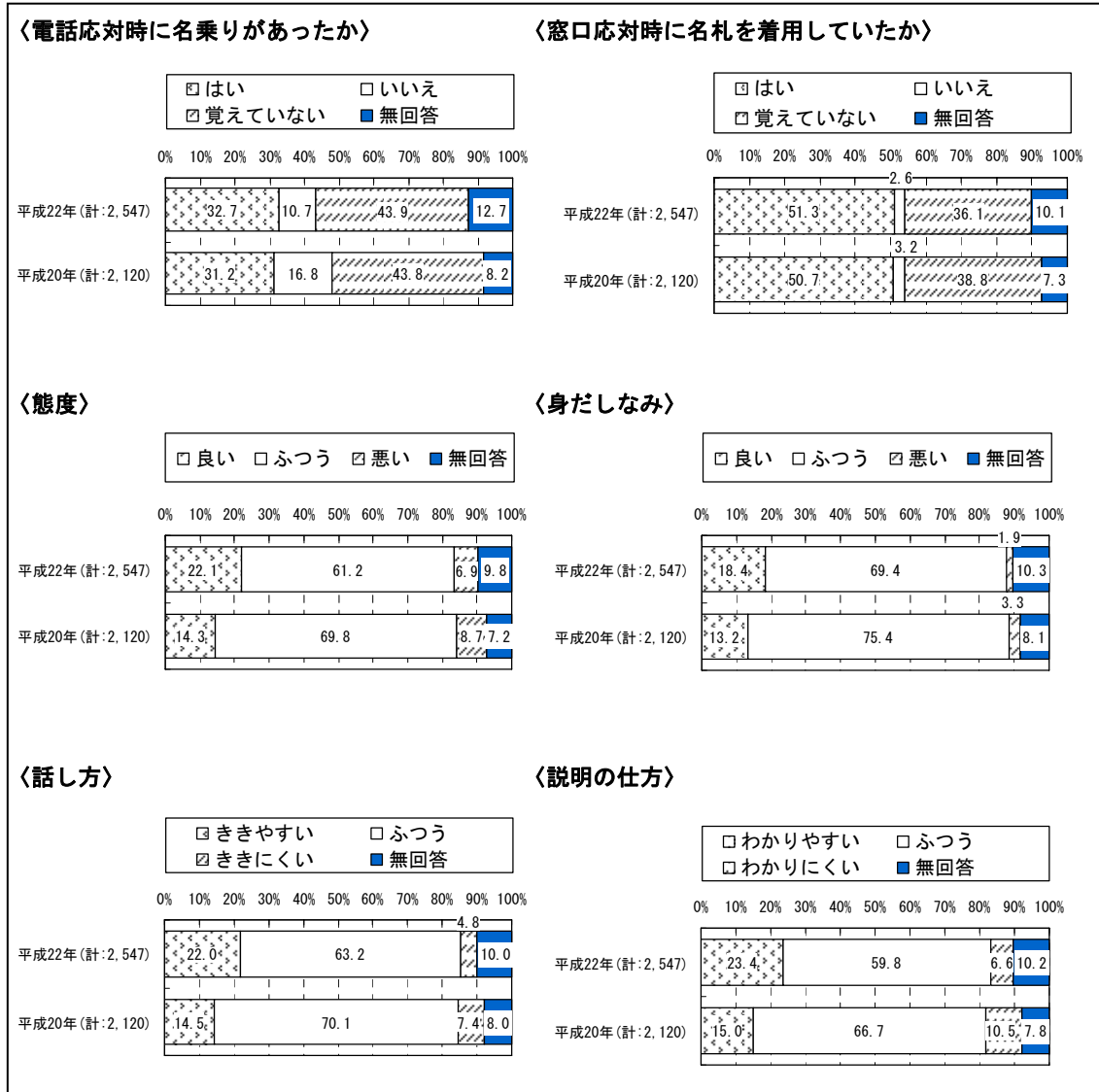
## ◇市職員の対応について◇

### ●市職員の対応

市職員の対応は向上している

態度、身だしなみ、話し方、説明の仕方はいずれも「ふつう」が最も多くなっていますが、平成20年と比較すると、「良い」(または「ききやすい」「わかりやすい」)の割合が高くなっています。

問 34. 市職員の対応についておたずねします。



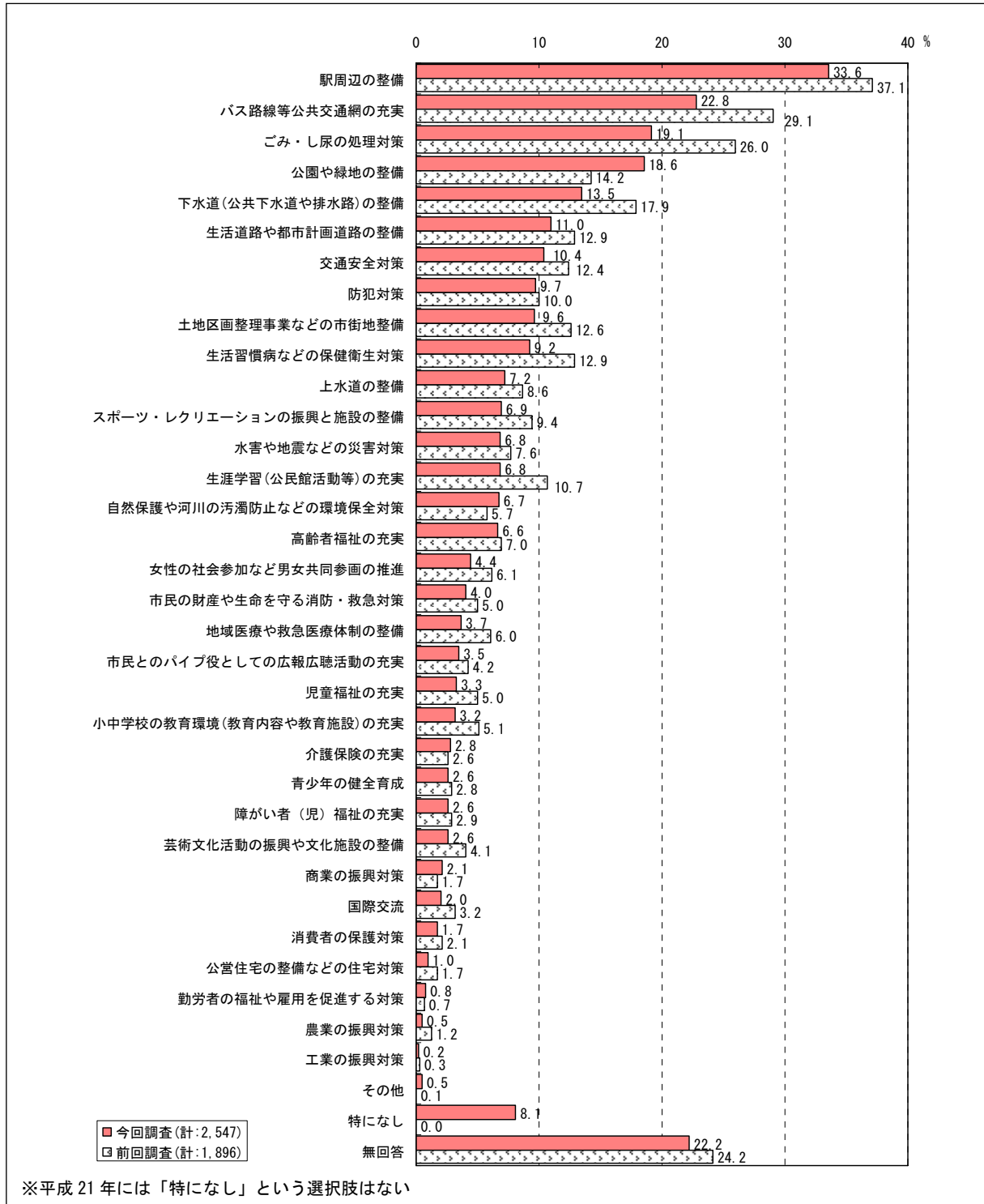
## ◇越谷市の施策について◇

### ●よくなってきたと感じるもの

よくなってきたこととしては「駅周辺の整備」が多い

市政の中でよくなってきたと感じるものについては、「駅周辺の整備」(33.6%)が3割台半ばに達して最も多く、次いで「バス路線等公共交通網の充実」(22.8%)、「ごみ・し尿の処理対策」(19.1%)の順となっています。

問 36. 市では様々な施策を進めていますが、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」を次の中から5つまで選びご記入ください。





	計	1位	2位	3位	
全体	2,547	駅周辺の整備 33.6	バス路線等公共交通網の 充実 22.8	ごみ・し尿の処理対策 19.1	
性・ 年齢別	女性全体	1,400	駅周辺の整備 33.6	バス路線等公共交通網の 充実 23.1	公園や緑地の整備 19.1
	20歳代	139	駅周辺の整備 30.2	バス路線等公共交通網の 充実、 16.5	公園や緑地の整備 12.9
	30歳代	236	駅周辺の整備 39.8	バス路線等公共交通網の 充実 24.6	公園や緑地の整備 21.2
	40歳代	227	駅周辺の整備 39.6	バス路線等公共交通網の 充実 26.0	公園や緑地の整備 18.9
	50歳代	196	駅周辺の整備 38.3	バス路線等公共交通網の 充実 30.1	ごみ・し尿の処理対策 28.6
	60歳代	332	駅周辺の整備 30.4	バス路線等公共交通網の 充実 23.8	ごみ・し尿の処理対策 21.4
	70歳以上	260	駅周辺の整備 23.5	公園や緑地の整備 19.2	下水道(公共下水道や排水 路)の整備 18.5
	男性全体	1,108	駅周辺の整備 33.7	バス路線等公共交通網の 充実 22.1	ごみ・し尿の処理対策 19.6
	20歳代	94	駅周辺の整備 42.6	バス路線等公共交通網の 充実 20.2	公園や緑地の整備、 ごみ・し尿の処理対策 18.1
	30歳代	193	駅周辺の整備 37.3	バス路線等公共交通網の 充実 24.4	公園や緑地の整備 16.6
	40歳代	171	駅周辺の整備 31.0	バス路線等公共交通網の 充実 19.3	公園や緑地の整備 17.0
	50歳代	160	駅周辺の整備 32.5	バス路線等公共交通網の 充実 18.1	ごみ・し尿の処理対策 17.5
	60歳代	270	駅周辺の整備 35.6	バス路線等公共交通網の 充実 28.1	ごみ・し尿の処理対策 25.9
	70歳以上	217	ごみ・し尿の処理対策 28.6	駅周辺の整備 27.2	公園や緑地の整備 20.3

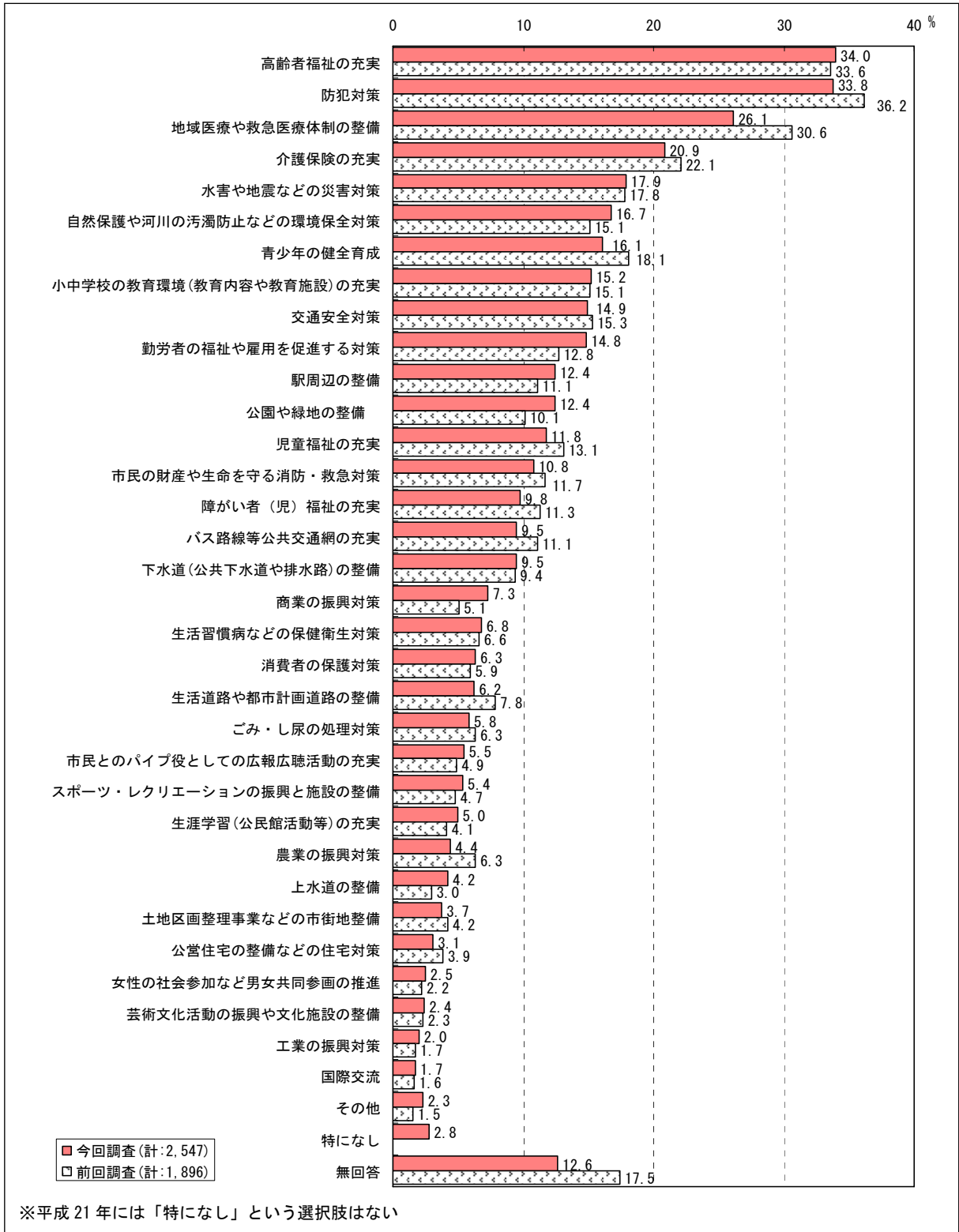
	計	1位	2位	3位
全体	2,547	駅周辺の整備 33.6	バス路線等公共交通網の 充実 22.8	ごみ・し尿の処理対策 19.1
桜井地区	257	駅周辺の整備 27.6	バス路線等公共交通網の 充実 23.7	ごみ・し尿の処理対策 17.5
新方地区	117	駅周辺の整備 35.0	バス路線等公共交通網の 充実 24.8	公園や緑地の整備 22.2
増林地区	128	公園や緑地の整備 32.0	バス路線等公共交通網の 充実 29.7	駅周辺の整備 23.4
大袋地区	370	駅周辺の整備 32.2	ごみ・し尿の処理対策 20.8	公園や緑地の整備 15.9
荻島地区	82	駅周辺の整備 32.9	ごみ・し尿の処理対策 23.2	公園や緑地の整備 19.5
出羽地区	172	駅周辺の整備 30.2	バス路線等公共交通網の 充実 29.1	ごみ・し尿の処理対策 20.3
蒲生地区	302	駅周辺の整備 44.7	バス路線等公共交通網の 充実 26.5	ごみ・し尿の処理対策 17.5
川柳地区	54	駅周辺の整備、 バス路線等公共交通網の 充実 40.7	公園や緑地の整備 27.8	ごみ・し尿の処理対策 20.4
大相模地区	152	駅周辺の整備 27.6	バス路線等公共交通網の 充実 25.0	公園や緑地の整備、 ごみ・し尿の処理対策 19.7
大沢地区	203	駅周辺の整備 38.4	公園や緑地の整備 22.7	ごみ・し尿の処理対策 19.2
北越谷地区	104	駅周辺の整備 36.5	ごみ・し尿の処理対策 27.9	公園や緑地の整備 24.0
越ヶ谷地区	341	駅周辺の整備 27.9	バス路線等公共交通網の 充実 24.6	公園や緑地の整備 17.3
南越谷地区	217	駅周辺の整備 41.0	バス路線等公共交通網の 充実 31.8	生活道路や都市計画道路 の整備 17.5

●特に力を入れるべきだと思われるもの

特に力を入れるべきこととしては「高齢者福祉の充実」が多い

市政の中で、今後、特に力を入れるべきだと思うものについては、「高齢者福祉の充実」(34.0%)が最も多く、次いで「防犯対策」(33.8%)、「地域医療や救急医療体制の整備」(26.1%)の順となっています。

今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」を、次の中から5つまで選びご記入ください。



		計	1位	2位	3位
全体		2,547	高齢者福祉の充実 34.0	防犯対策 33.8	地域医療や救急医療体制の整備 26.1
性・年齢別	女性全体	1,400	高齢者福祉の充実 36.0	防犯対策 31.1	地域医療や救急医療体制の整備 28.0
	20歳代	139	防犯対策 40.3	地域医療や救急医療体制の整備 28.1	高齢者福祉の充実 26.6
	30歳代	236	防犯対策 37.3	地域医療や救急医療体制の整備 28.0	小中学校の教育環境(教育内容や教育施設)の充実 26.7
	40歳代	227	防犯対策 41.4	小中学校の教育環境(教育内容や教育施設)の充実 30.8	高齢者福祉の充実 30.4
	50歳代	196	高齢者福祉の充実 48.0	地域医療や救急医療体制の整備 37.8	介護保険の充実 31.6
	60歳代	332	高齢者福祉の充実 42.5	地域医療や救急医療体制の整備 27.7	介護保険の充実 25.9
	70歳以上	260	高齢者福祉の充実 41.5	介護保険の充実 28.5	水害や地震などの災害対策 22.7
	男性全体	1,108	防犯対策 37.3	高齢者福祉の充実 31.2	地域医療や救急医療体制の整備 23.8
	20歳代	94	防犯対策 38.3	自然保護や河川の汚濁防止などの環境保全対策 25.5	勤労者の福祉や雇用を促進する 24.5
	30歳代	193	防犯対策 42.0	児童福祉の充実 22.3	交通安全対策、駅周辺の整備 20.7
	40歳代	171	防犯対策 43.3	高齢者福祉の充実 29.2	地域医療や救急医療体制の整備 24.0
	50歳代	160	防犯対策 38.8	高齢者福祉の充実 29.4	地域医療や救急医療体制の整備 24.4
	60歳代	270	高齢者福祉の充実 41.9	防犯対策 38.9	地域医療や救急医療体制の整備 35.2
	70歳以上	217	高齢者福祉の充実 37.8	防犯対策 25.3	水害や地震などの災害対策 21.7

	計	1位	2位	3位
全体	2,547	高齢者福祉の充実 34.0	防犯対策 33.8	地域医療や救急医療体制の整備 26.1
桜井地区	257	高齢者福祉の充実 36.2	防犯対策 35.8	地域医療や救急医療体制の整備 26.8
新方地区	117	高齢者福祉の充実 43.6	水害や地震などの災害対策 33.3	地域医療や救急医療体制の整備 31.6
増林地区	128	高齢者福祉の充実 33.6	防犯対策、地域医療や救急医療体制の整備 29.7	介護保険の充実 20.3
大袋地区	370	防犯対策 37.8	高齢者福祉の充実 35.9	地域医療や救急医療体制の整備 29.7
荻島地区	82	防犯対策 42.7	高齢者福祉の充実 41.5	地域医療や救急医療体制の整備 31.7
出羽地区	172	高齢者福祉の充実 30.8	防犯対策 26.2	地域医療や救急医療体制の整備 22.1
蒲生地区	302	高齢者福祉の充実 34.1	防犯対策 30.1	地域医療や救急医療体制の整備 23.8
川柳地区	54	防犯対策 35.2	下水道(公共下水道や排水路)の整備 29.6	バス路線等公共交通網の充実 24.1
大相模地区	152	防犯対策 32.2	高齢者福祉の充実 30.3	介護保険の充実 27.0
大沢地区	203	防犯対策 37.4	高齢者福祉の充実 33.0	地域医療や救急医療体制の整備 26.6
北越谷地区	104	防犯対策 51.9	高齢者福祉の充実 33.7	地域医療や救急医療体制の整備 25.0
越ヶ谷地区	341	高齢者福祉の充実 32.0	防犯対策 27.0	地域医療や救急医療体制の整備 26.1
南越谷地区	217	防犯対策 41.9	高齢者福祉の充実 34.6	青少年の健全育成 24.9